

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1157 号	氏名	江藤 諒
学位審査委員	主査	田中 正一	
	副査	尾野村 治	
	副査	石原 淳	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 ペプチドのヘリックス二次構造は、不斉有機分子触媒や細胞膜透過性ペプチドとしての応用が期待されている重要な構造である。本研究は、ジ置換アミノ酸側鎖の不斉構造がヘリックス二次構造の巻き方制御に与える影響を調べようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 側鎖に各種のキラルアセタールを持つ4員環状ジ置換アミノ酸と6員環状ジ置換アミノ酸を設計し、効率的なアミノ酸の合成手法を研究している。さらに、そのホモペプチドを合成し、¹H NMR や CD スペクトルを用いた溶液状態、並びにX線結晶解析による結晶状態にて、その二次構造を解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、環状ジ置換アミノ酸の側鎖不斉中心とペプチド主鎖との距離、環状ジ置換アミノ酸の側鎖不斉構造により、ヘリックス二次構造の巻き方制御性が異なることが明らかになった。さらに、溶液状態では溶媒によりヘリックスの巻き方制御性が大きく異なることを明らかにし、これらの成果により今後のペプチド科学への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はペプチド科学と薬科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			